

ほっと

熱海のホット
ホットなニュース
熱意のホット
ほっとするホット

地域と熱海病院を結ぶ
ホットな情報誌

Ohta Atami Hospital
HOT 2021.

No.25

太田熱海病院だより

編集・発行／太田熱海病院サービス委員会
発行日／令和3年3月1日
住 所／〒963-1383
郡山市熱海町熱海5丁目240番地
TEL (024) 984-0088
ホームページ：http://www.ohta-hp.or.jp/

～地域包括ケア病棟がオープンしました～

当院では回復期リハビリテーション病棟に加え、2020年8月1日より地域包括ケア病棟（44床）の運用を開始しました。地域包括ケア病棟は、急性期治療を経過した患者さん及び在宅において療養を行っている患者さんを受け入れ、安心して自宅や施設へ退院（在宅復帰）できるように支援する病棟です。当院ですでに運用している回復期リハビリテーション病棟も、脳血管障害や骨折の手術などの急性期治療を終えた患者さんに対し集中的な機能回復リハビリテーションを実施することで在宅復帰を支援しており、どちらの病棟も急性期治療後の在宅復帰を目指しています。地域包括ケア病棟の運用を開始することで、回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟を併せ持つ病院として、急性期治療が終了し在宅復帰を目指すあらゆる患者さんに、きめ細やかな医療とリハビリテーション及び退院支援ができる体制を整えました。医師・看護師・リハビリテーションスタッフ・医療ソーシャルワーカー・地域医療連携室・訪問看護ステーションなどの多職種が連携し、「病院から在宅への架け橋」となるよう在宅復帰を支援します。さらに退院後には訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションなどによるサポートも行います。



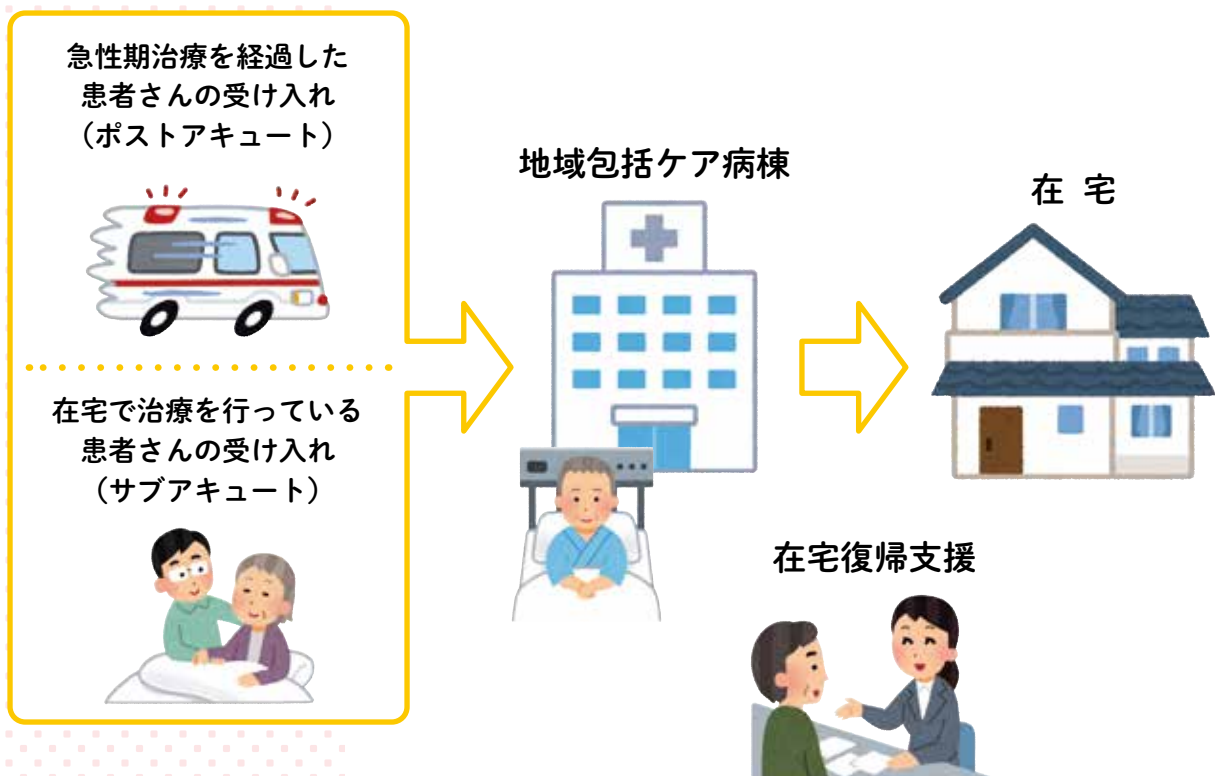


～ 地域包括ケア病棟が 回復期リハビリテーション病棟と

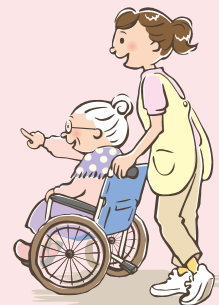
地域包括ケア病棟とは？

地域包括ケア病棟は、「急性期治療を経過した患者さん及び在宅において療養を行っている患者さんの受け入れと、その患者さんの在宅復帰支援を行う機能を持つ地域包括ケアシステムを支える病棟」と定義されています。具体的には以下の4つの機能を有する病棟で、決められた対象疾患はなく、在宅復帰を目指す患者さんであればどなたでも入院可能ですが、入院可能な日数は60日になっています。ただし、レスパイト入院は原則1～2週間となっています。

- ①ポストアキュート機能** 急性期の治療が終了し病状が安定したものの、すぐに自宅や施設などに退院することに不安のある患者さんに対して、在宅復帰に向けた医療や支援及びリハビリテーションを包括的に行う機能
- ②サブアキュート機能** 自宅や施設で療養している患者さんが急性増悪した際に緊急入院する機能
- ③レスパイト入院機能** 在宅で介護を受けている患者さんが、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けて入院する機能
- ④在宅復帰支援機能** 在宅復帰のために必要な医療、リハビリテーション、栄養管理、認知症ケア、服薬調整など院内の多職種がチーム医療を行う機能に加え、医療ソーシャルワーカーやケアマネージャーが在宅での生活を見据えたサービス提供の準備を行う機能



オープンしました～ ともに在宅復帰をお手伝いします



地域包括ケア病棟への入院が適している患者さんとは？

- 1 入院治療により急性期の症状は安定したものの、自宅や施設などに退院するためには、もう少し経過観察やリハビリテーションが必要な患者さんや、在宅復帰に向けて調整や準備が必要な患者さん
- 2 自宅や施設で療養中に症状が急性増悪して入院が必要な患者さんや、肺炎・腸炎・脱水・けがなどの軽症急性疾患で緊急入院が必要な患者さん
- 3 在宅で介護をする人の事情で、一時的に在宅介護が困難となる患者さん



- 自宅や施設などに退院できる患者さんが対象となり、長期にわたる入院加療が必要な患者さんは対象となりません。入院日数が60日を超える場合には他の病棟に転棟する可能性があります。
- 当病棟入院中に状態が悪化した場合や高度な治療が必要になった場合には、急性期病棟に転棟する可能性があります。
- 日常生活動作向上のためリハビリテーションが必要な患者さんには、1日平均2単位以上のリハビリテーションを提供します。

回復期リハビリテーション病棟との違いとは？

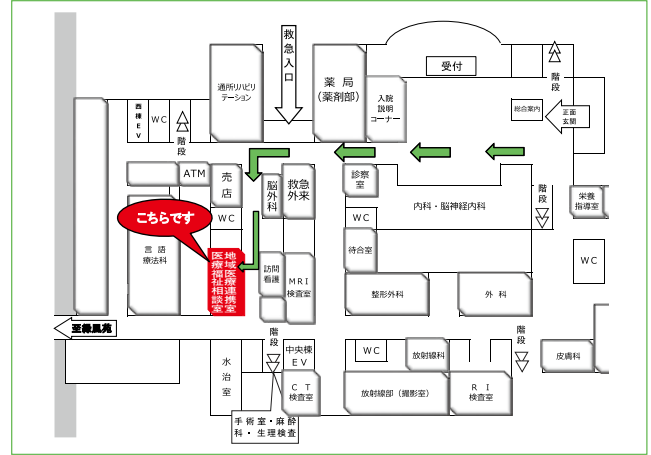
当院ですでに運用している回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患や頸髄損傷、大腿骨・脊椎・骨盤骨折などの整形外科的疾患、外科手術や肺炎等の治療後に生じた廃用症候群に対し、急性期を脱してもまだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的な機能回復リハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。この病棟では、入院できる疾患が限られており、また疾患別に入院可能な日数が60日～180日に定められています。この病棟のメリットは最大3時間のリハビリ訓練だけでなく、起床時から就寝時まで食事・着替え・歯磨き・整容・入浴・排泄など日常的な動作も含めた生活そのものをリハビリテーションととらえたサポートが受けられることです。他にも、安心して自宅に帰れるよう退院前に患者さんと一緒に自宅へ伺い、家庭内の改修・補助器具導入の調査・自宅の段差などに合わせて強化したい訓練の見極めなどを行う家屋調査や、退院後に使える介護保険申請・各種サービスの調整など、在宅復帰に向けてさまざまな取り組みを行います。



院内見て歩き

No.25

令和3年1月23日より、地域医療連携室と医療福祉相談室、そして認知症認定看護師が、従来の場所から移りひとつの場所に集合しました。移動場所は、一階の訪問看護ステーションの向かい側となります。私たちは、患者さまやご家族、当院をご利用される方々が外来・入院を通して、安心して治療や療養が出来るように、地域の医療機関、介護・福祉事業所、行政機関との連携や、院内他部門との連携を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。



うどんと菜の花の和風パスタ

栄養部 薄井 奈津美

1人分あたり【エネルギー：590kcal たんぱく質：19.0g 塩分：2.0g】



今回紹介するメニューは春野菜を使ったフライパン一つでできる簡単レシピです。

菜の花は、多くのビタミンやミネラル類、食物繊維が豊富で、貧血や免疫力アップ、便秘改善などに役立ちます。うどんは水分・カリウムの含有量が多く、低カロリーですが、たんぱく質を体内で合成するのに欠かせないアミノ酸の一種や、抗菌・抗酸化作用・血行促進・疲労回復に効果のある栄養素などを含みます。

旬の野菜を使用した栄養たっぷりのパスタをぜひお試しください。

■ 材料 (1人分)

- スパゲティ …… 100g
- うどん …… 40g
- 菜の花 …… 30g
- ベーコン …… 35g
- 水 …… 400ml
- めんつゆ …… 大さじ1
- バター …… 5g
- コショウ …… 少々

■ 作り方

- ① うどんは厚めに皮をむいて薄く斜め切りにし水にさらす。菜の花は3cmの長さに切り、ベーコンは1cm幅に切る。
- ② フライパンに水・めんつゆを入れて沸騰させ、スパゲティを手で半分に折って入れる。蓋をして袋の表記より2分短くゆでる。
- ③ 1を加え、再び蓋をして中火で2分煮込む。
- ④ 強火にして水分を飛ばす。バターを加えよく混ぜ合わせ、コショウで味をととのえる。
- ⑤ 器に盛りつけて完成。

太田熱海病院サービス委員会

▶ 委員長：藤井亮司

▶ 委員：佐藤美恵子、岩崎恵子、品田佳位、中山知美、数沢祐香、亀谷恵理子、坂口恭子